

2003-2004



岐阜中週報

Lend a Hand

手を貸そう R.I.会長 ジョナサンB.マジアベ

会長 森 益 男
 幹事 長 井 義 夫
 発行者 ウェブ委員会
 委員長 篠 田 泰 成
 例会 毎週火曜日 12時30分
 会場 岐阜ルネッサンスホテル
 事務局 岐阜市神田町 2-2
 電話 264-9235 番

平成 16 年 2 月 24 日(火)
 第 558 号
 第 634 回例会

会長挨拶

会長 森 益男

いよいよ自衛隊の“イラクでの復興支援活動”が始まろうとしています。しかし、米英軍がイラクを制圧してから既に数ヶ月が経ちますが、6月にはイラク人による政府を立ち上げたいというアメリカの目論見は現在のところ順調にしているようにも思えません。私は1つの歴史を思い起こします。11世紀末からの約200年間、西洋人にアラブは侵略されます。「フランク」と呼ばれた西洋人たちは主として地中海東岸を襲い、居座り、去っていきました。所謂「十字軍の遠征」です。文明では西欧より進んでいたアラブ社会が野蛮で勇敢なフランクの騎士たちに侵略され蹂躪されます。そして幾多の試練の後、ついに彼らは西欧を撃退するのですが、その後は勝ったはずのアラブが衰退に向かい、逆に西欧は飛躍的に発展を遂げていきます。それは西欧人がその遠征中にアラビア語を学び、医学、天文学、科学、地理学、数学、建築などの知識を吸収したのに対し、アラブは西欧の思想な

どに心を開こうとはしなかったために、進歩も近代化も相手方だけのものとなったといわれています。

「敵から学ぶ」はわが日本にも当てはまる経験でもあります。ペリー艦隊による開国から始まった明治維新や、第2次大戦後の復興と経済発展がそうだと思いますし、また80年代経済戦争に遅れをとった米国が日本に学んで巻き返したのもそれに当たると思います。解放軍が侵略者か・・・イラクをほぼ制圧している米英軍に対するイラクの民衆の感情は複雑だと思われれます。しかし、ただ単に“文明の衝突”とか“復讐”だとかを煽るだけでは彼らにとっても不幸ではないでしょうか。「十字軍以後」に学ぶことは多いと思います。本日は中クラブの青木会員による「中国へ進出後の現状報告」という興味深いお話をいただきます。ぜひ色々な面で学びたいと思います。

第3回次年度理事役員会

日時:平成16年2月17日(火)13:40~
 場所:岐阜ルネッサンスホテル
 司会:中山 章 幹事

開会挨拶:加藤義明 副会長

議事録作成:中山 章 幹事

出席者と資料の確認:中山 章 幹事

会長挨拶:田邊雅範 会長

議長選出:田邊雅範 会長

出席者:田邊、加藤(義)、中山、内木、安田、森、秋保、村山、林、佐藤

【議題】

第1号議題: 職業分類表見直しの件
 *次年度クラブ活動計画書からは新分類表に沿って変更することを確認し、承認されました。会員手帳作成のため現理事役員にも承認依頼することも確認。

第2号議題: 15期予算見直しの件
 *ポリオ撲滅寄付、15周年準備委員会会費、植林事業留学生参加費用等追加し、基本合意されました。

第3号議題: 米山奨学金、R財団への寄付の件 *例年の形を踏襲し継続することで承認されました。

【協議事項】*会員増強について
 7月度新会員スタートを目指して、4月末までの推薦確定への協力を依頼。改めて全会員へ要請することを確認。
 閉会の挨拶:森 益男 直前会長

前例会の記録

平成16年2月17日(火)

[点鐘] 12時30分

[ソング] それでこそロータリー

[ゲスト] 米山奨学生 叶 冠林 君

[ビジター] 渡辺 一君(岐阜南RC)

[出席] 会員総数41名

(出席免除0名、猶予0名)

本日出席30名 73.17%

[行事] 会長挨拶・食事・幹事報告・委員会報告・ニコボックス報告

[卓話] 『中国南通独資工場設立報告』

青木 弘会員

担当 会計監査

次回予定 第635回

平成16年3月2日(火)

[点鐘] 12時30分

[行事] 卓話『防災について』

講師 見尾谷 稔様

担当 副SAA委員会